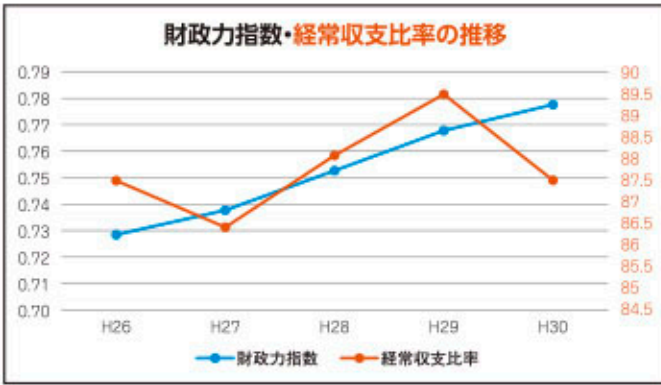


9月定例会 (9/18~10/8)

平成30年度の決算審査では、一般会計に4つの特別会計、一つの事業会計を含む総額を認定した。



★歳出面では、予算配分の重点化、効率的な事業の実施を図るとともに内部統制におけるリスク管理をし、不断の行政改革に努めてほしい。

★予算において一部不用額が見受けられるが、積算内容を精査し適切な予算額の計上に努める。

Ⅲ事務事業評価は★目標達成のため、事務改善を行うこと

◎平成30年度の歳入歳出決算は、健全な財政運営と適正な事務処理が行われているが、以下の4項目について検討、努力をお願いする。

I 財政の弾力性は

扶助費の増大といったやむを得ない事情はあるが経常収支比率は高い水準にある。



監査委員からの意見

★不良債権について、債務者の破産等により改修が極めて困難なものは、資産調査を進め適切で計画的な債権整理の推進を。

準にあり、更に適正な財政運営を心掛けてほしい。

II 財政基盤の強化は

★町税については「愛媛地方税滞納整理機構」との連携等で高い徴収率を維持する努力が認められる。今後も住民の行政に対する不公平感、不信感を生じさせないよう、徴収及び収入未済金の改善に努力を求めよう。

◎水道事業会計決算への意見書から

①西古泉水源地改修の実施により今後更に厳しい経営状態が予想される。未収金の徴収など資金の確保、経費の節減に努めてほしい。

②効率的な配水管整備を行うため道路整備と連携して計画的な推進を。

③有収率の低下を招かないよう計画的な漏水対策と適正な管理を。

④安全・安心で安定的な給水の確保のため経営安定化の企業会計を。

で行政サービスの向上を図る目的で導入したもので、今後も改善を加えながら実施を。

IV 地方公会計の導入は

★全庁的に連携して取り組み必要な経理マニユアルの整備を行う。さらに公共施設等の将来更新必要額の推計や事業別・施設別の区分分析などのマネージメントへの活用充実に努めてほしい。

平成30年度 主な新規(目玉)事業			
事業名	工事費	一般財源	備考(成果等)
情報伝達多重化推進	2860	20	より迅速かつ的確に住民へ防災情報を伝える
ご当地ナンバープレート作成	39.6	39.6	松前町の魅力を町内外にPR
コンビニ交付システム導入	3150	3150	住民サービスの向上と窓口業務の負担軽減
老人憩いの家管理	675.3	95.3	安全で快適に高齢者が集える環境の整備
放課後児童健全育成施設整備	622.1	132.1	岡小放課後児童クラブの新築工事設計の実施に
保育所一般管理	500.4	500.4	安全で安心な保育環境を整備
公共施設温暖化対策推進事業	896.4	0	省エネ診断、温暖化対策推進体制の整備
認定農業者経営発展支援	296.2	93.1	農地集積や農作業の受託による規模拡大など
水産業振興育成対策	195.7	195.7	漁業の活性化と振興、魚食の普及
花いっぱい	283.4	283.4	松前町の新たな観光名所としてPR
土のう置場設置工事	235.5	65.5	緊急に土のうが必要な場合に対応可能
教育施設劣化状況	1823.1	1823.1	小・中・幼及び給食センターの施設調査
教育施設ブロック塀・冷房設備整備	6932.1	769.9	児童生徒の安全確保、快適な教室環境確保

(単位：万円)